



新着図書案内

本格的な梅雨入り。

こんな時には雨音をBGMに読書はいかが？

	<p>強制終了 いつか再起動 吉野 万里子／著（講談社）</p> <p>主人公の加地は、中高一貫の中学に進学したものの勉強についていけず、自分が周囲から浮いていると自覚している。そんなとき、大学生の家庭教師の安岡と仲良くなり、安岡の家に遊びに行くことになる。そこで見つけたガラスのパイプと苔色（こけいろ）の何か。それをすすめられるままに吸ってしまい…。</p> <p>中学生の「薬物依存」を描いた話題作。「身近な問題と思うと怖かった。」（2A Yさん）「もし身近に起きたら動揺する。」（3B Kさん）「こんなことが中学生の間で起きるなんて。」（3A Mさん）「友だちが読んでいて気になっている。すぐに読みたい。」（3A Cさん）、などなど、身延中図書館でも話題になっている1冊です。</p>		<p>新恐竜 絶滅しなかった恐竜の図鑑</p> <p>ドゥーガル・ディクソン／著（学研）</p> <p>「ティラノサウルス」「トリケラトプス」・・・今から6600万年前、巨大な隕石が地球に衝突し、その影響で恐竜たちは絶滅したといわれている。でも隕石が衝突せず、恐竜が絶滅せず、彼らが進化を続けていたらどのような姿になっていたのだろうか。</p> <p>これらは、絶滅せずに進化した恐竜たちの「もしも」の図鑑である。これを読めば、あなたの想像力が加速すること間違いなし。</p> <p>姉妹書として「アフターマン：人類滅亡後の動物の図鑑」もあります。</p>
	<p>ゆけ、シンフロ部！ 堀口 泰生（学研）</p> <p>シンフロとは、温泉で「シンクロナイズドスイミング」をすること。シンフロに出会った遙は、あがり症の自分の性格を変えようと決意する。しかし、高校で入部しようとした「シンフロ部」はすでに廃部。同好会では大会には出られない。なんとか復活させようと遙たちは立ち上がるが…。</p> <p>大分県のPR動画「シンフロ」が小説化した作品。「とにかく楽しい本を読みたい」という人におすすめの熱血青春部活ストーリー。読んだあと、さわやかな気持ちになること間違いなし。</p>		<p>気温が1度上がると、どうなるの？</p> <p>K. S. シュライバー／文（西村書店）</p> <p>地球は、これまでにない速さで、どんどん暖かくなっている。この150年の間に平均で約1℃の上昇。地球が生まれてから約45億年。この45億年を1年におきかえて計算するとほぼ1秒の長さ。つまり地球にとって150年はとっても短い時間。まばたき1回分くらいだ。</p> <p>気温が1度上がることで起こることは？「気候変動」とはどんなことをいうのだろう。わたしたちの未来と地球を守ることに、この本で学んでみませんか？</p>

<これからの図書館の予定>

6月25日（金）第2回 全校一斉読書
今回は「集団読書用テキスト」を読みます。

7月5日（月）図書集会（放送による）
現在、図書委員は、「すき間時間」をみつけて練習中！

<朝読書の様子から・・・>

現在、朝読書の時間に3年生は「山梨日日新聞」・「朝日新聞」・「毎日新聞」など一般紙を読んでいます。「読解力」がこれからの社会で大切といわれていますが、SNS世代のみなさんにとっては「文字を書くこと」「文字を読んだりすること」が特別な作業になりつつあります。毎日10分、活字を読むことはもちろんですが、時には新聞のコラムを読んで自分の考えを短い文章でまとめてみることもおすすめします。